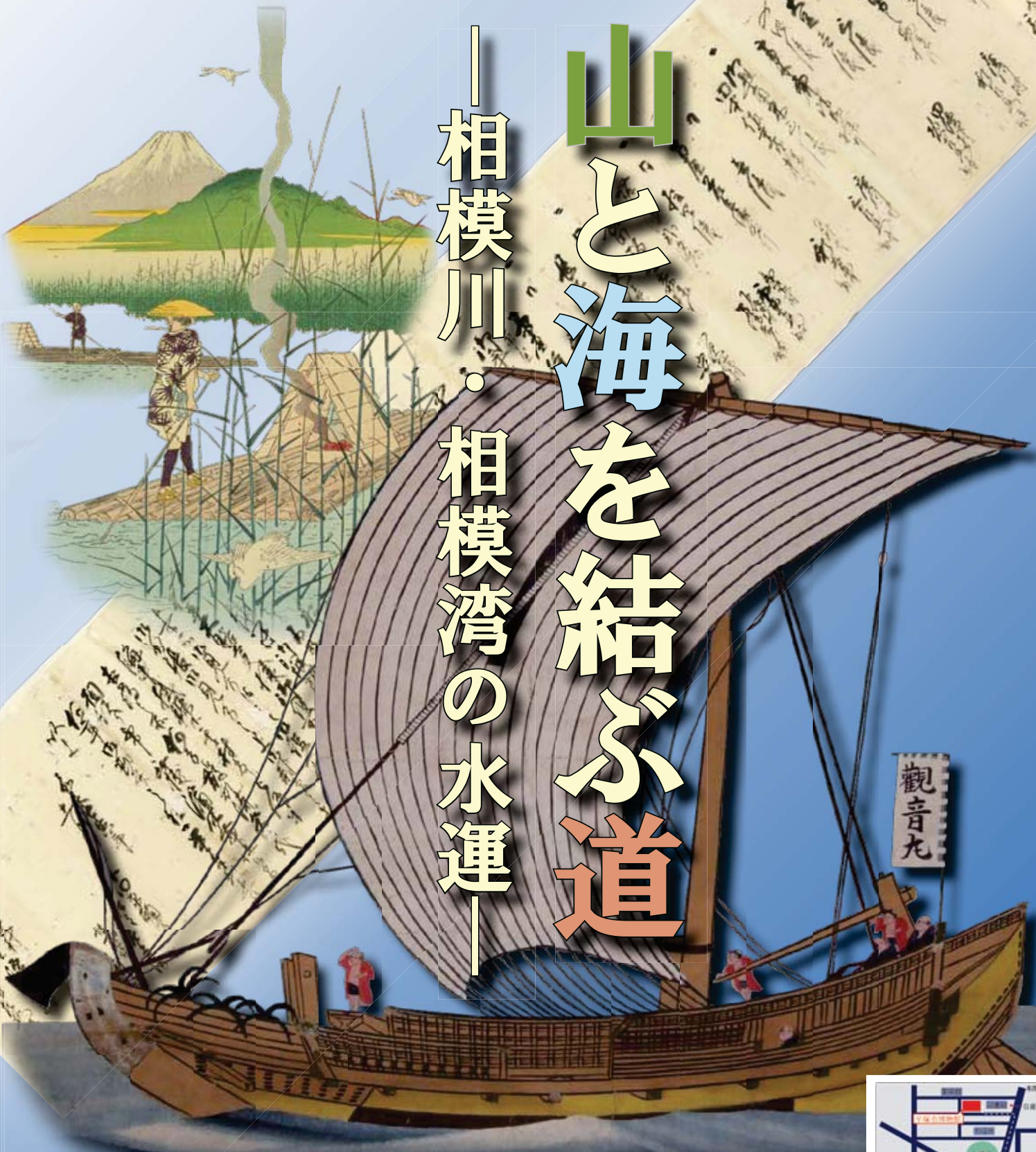


# 平塚市博物館 秋期特別展

〒254-0041 神奈川県平塚市浅間町12-41 電話：0463-33-5111 FAX：0463-31-3949  
<http://www.hirahaku.jp>

## 山と海を結ぶ道 — 相模川・相模湾の水運 —



2009年10月3日(土)～11月29日(日)

- 休館日：月曜日(10/12・11/23は開館)・10月13日(火)・11月24日(火)
- 開館時間：9時～17時(10/27～11/1は19時まで開館) ■入館無料



■東海道本線平塚駅下車  
茅ヶ崎側改札北口駅前より車で5分、  
徒歩15分  
■バス利用の場合  
日産車体前、または美術館入口下車  
徒歩3分

江戸時代、相模川は相模国の物流の大動脈でした。

その河口に位置する須賀・柳島は山・海から運ばれた物資・人の集散地として繁栄しました。

現在では想像することも難しい水運の歴史がそこにはありました。

ここで営まれた水運の歴史は平塚はもちろん、相模川流域や相模湾岸の歴史を考えるうえでも無視することはできません。

本展示では、相模川・相模湾の水運を物語る資料の紹介を通して、失われた水運の歴史を浮かび上がらせたいと思います。

## 【展示構成】

### I 相模川の船と水運

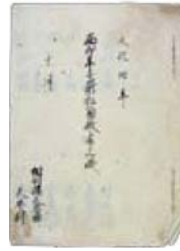
高瀬船や筏など、相模川をゆく船に関する資料を紹介します。



富士三十六景さがみ川  
歌川広重筆  
(厚木市郷土資料館蔵)



炭俵 (当館蔵)



文化4年(1807)10月  
当成年高瀬船員数書上帳  
(角田信彰氏蔵)

### II 相模湾の海運と須賀・柳島の廻船

相模湾を行き来した廻船と廻船問屋の繁栄を物語る資料を紹介します。



廻船妙法丸模型 (当館蔵)



幟旗「嘉儀丸」  
(浦田弘氏蔵)



太平年表録 (藤間雄蔵氏蔵)

### III 絵葉書にみる相模川・相模湾の失われた風景

戦前の絵葉書の紹介を通して、かつての相模川・相模湾の様子をかいまみます。



与瀬下発船所付近の景 © 山本書店  
(相模原市博物館蔵 津久井郷土資料室保管)



津久井長瀬の夕景 © 山本書店  
(相模原市博物館蔵 津久井郷土資料室保管)



平塚町郊外須賀港  
(大磯町郷土資料館蔵)

## 【関連事業】

### ■ 記念講演会

#### 第1回 相模川・相模湾水運における須賀・柳島の位置

講師：早田旅人 (平塚市博物館)

日時：10月17日(土) 14時～15時30分

#### 第2回 近世の相模川・相模湾水運

— 津久井・須賀・柳島・神奈川

講師：西川武臣氏 (横浜開港資料館)

日時：11月7日(土) 14時～15時30分

※各回とも会場は博物館講堂

### ■ 学芸員による展示解説

日時：10月4日(日)・10月18日(日)

11月15日(日)：各回15時～16時

10月29日(木)：18時～19時

### ■ 秋のイブニングミュージアム・ウィーク—相模湾 六夜六話—

相模湾や海にまつわる話題をお届けします。

場所：博物館講堂 時間：18時～19時 (参加自由)

10月27日(火)

「相模湾の海底地形」当館学芸員 森 慎一

「波浪観測塔と地震観測施設」東北大学名誉教授 近藤純正氏

10月28日(水)「海で見える星」当館学芸員 澤村泰彦

10月29日(木)「秋期特別展 展示解説」当館学芸員 早田旅人

10月30日(金)「相模湾の民俗」当館学芸員 浜野達也

10月31日(土)「貝塚が語る縄文の海辺」当館学芸員 栗山雄輝

11月1日(日)「ウミガメのはなし」

新江ノ島水族館学芸員 小谷野有加氏

海洋生物研究者 倉持卓司氏